

宗祖大聖人毎朝御拝読（元祖化導記）。以来
なぜか要品から漏れてきた**涌出品のお経本**。

宗祖御入山・身延山開創750年記念 総かな付

○『**妙法蓮華經從地涌出品第十五**』 真訓

「涌出・寿量の二品を除ては皆始成を存せり」―開目抄―
経文解説、「日蓮」という名の解説、日蓮宗宗憲 付き

●裏面 新編 《**身延山御書類聚**》 一日一訓

総ふりがな付き。僧俗ともに毎日ご拝読下さい。

定価 1冊 2500円（税込、何冊でも送料無料）

妙法蓮華經從地涌出品第十五

解説付
裏面 身延山御書類聚

妙法蓮華經從地涌出品第十五

爾時釋迦牟尼佛告彌勒菩薩善哉善哉阿逸多乃能問佛如是大事汝等當共一心被

精進鎧發堅固意如來今欲顯發宣示諸佛智慧諸佛自在神通之力諸佛師子奮迅之力諸佛威猛大勢之力爾時世尊欲重宣此義而說偈言

當精進一心我欲說此事勿得有疑悔佛智叵思議汝今出信力住於忍善中昔所未聞法今皆當得聞我今安慰汝勿得懷疑懼佛無不實語智慧不可量所得第一法甚深回分別如是今當說汝等一心聽

爾時世尊說是偈已告彌勒菩薩我今於此大眾宣告汝等阿逸多是諸大菩薩摩訶薩無量無數阿僧祇從地涌出汝等昔所未見者我於是娑婆世界得阿耨多羅三藐三菩

寛文八年 身延山第二十九世

住持 院日蓮上人 類聚

身延山御書類聚

一日 四糸金吾殿御返事 (佐渡ご赦免) (定通一八〇頁)

佐渡の島に放たれ、北海の雪の下に埋もれ、北山の嶺の山下風に、命助かるべしとおほえず。年米の同朋にも捨てられ、故郷へ帰らん事は、大海の底のちびきの石の思ひして、さすがに用夫なれば古郷の人々も恋しきに、在俗の宮仕障なき身に、此縁を備する事こそ希有なるに、山河を隔ぎ、意海を経て還に尋ね来り給ひし志、雪城に

骨を砕き、雪嶺に身を投げし人々にも争でかぎり給うべき。又、我身はこれ程に浮び建かりしが、いかなりける事にてや、同じき十一年の春の比、赦免せられて鎌倉に帰上りけん。情事の情を案ずるに、今は我身に過あらじ。

二日 富木殿御書 (御入山道中) (定通一八〇九頁)

けから(飢渴)申すばかりなし。米一合もうらず。がし(餓死)しぬべし。此御房たちもみなかえて置一人候べし。このよしを御房たちにもたらせ給え。

十二日さか(酒輪)、十三日たけのした(竹ノ下)、十四日くるまがえし(車返)、十五日おおみや(大宮)、十六日なんぶ(南部)、十七

日このところ。いまださたまずといえども、たいし(大旨)はこの式で申す。中て嘆えば、しばらくは候わんずらん。結句は一人にな